

VitaMeal ジャーナル

World Food Day

10月16日
は世界食料デー!



今月は「世界食料デー」月間。「できること」を考えてみませんか。

10月16日は国連が定めた、世界の食料問題を考える日。ニュースキンでも20年前から、飢餓に苦しむ子どもに栄養食「ビタミール」を届ける「ナリッシュ ザ チルドレン*」活動を通じて、この問題に取り組んでいます。ここでは、「ビタミール」の特長と支援先の国をご紹介します。

*会員・社員によって購入・寄付された栄養食「ビタミール」を無償で提供するプログラム。

「ビタミール」って何?

栄養不良の子どもに最適な栄養食

成長に必要なカロリーや栄養素を摂取できる完全オリジナル食です。



専門家と共同開発

ファーマネックス研究チームが小児栄養学の世界的権威と共同開発し、子どもの栄養状態改善を支えます。

現地生産で雇用創出

支援先の国で原材料の調達、製造を行うため、地元経済にも貢献します。



マラウイってどんな国?

日本で購入された「ビタミール」が届けられるマラウイは、アフリカ南部にある農業国で、自然災害が多い世界最貧国のひとつです。



マラウイ共和国

初等教育の修了率

33%

発育障害で平均より低身長の子の割合

35%

数字で見るマラウイ

1日当たりの生活費 (人口の70.8%)

US\$1.9未満

電気のある世帯

12%

出典: UNICEF Malawi 2021 Annual Report



「ビタミール」の支援を受けた子どものストーリー アイリーン

HIV陽性と診断された5歳児で、彼女の家庭では適切な栄養を摂ることは非常に困難でした。しかし、チャリティパートナーの支援でビタミールを食べ続けることができるようになり、そのおかげで栄養状態は大幅に改善されました。彼女は将来、看護師になりたいそうです。

出典: ジョイス バンダ財団 ストーリーシート



ビタミール寄付
7億5,000万食達成
※2021年11月までの累計

あなたも支援を始めませんか?

ビタミール(購入・寄付)はこちらから▶

